



防災力を高めよう!!

阪神・淡路大震災からあつという間に
12年という月日が経ちました。
あの時の教訓で私達の町、そして家庭に
備えが出来ていますでしょうか?

近年、M8規模の『東海地震』がいつ来てもおかしくない状況に
あります。

今一度ご家庭で『防災』について考えてみてはいかがでしょうか。
藤営自治区でも、毎年11月頃、環境・防災部を主として災
害に備え、消火器による初期消化訓練、大鍋での炊き出し
訓練等を実施しています。

また、更なる防災備品の強化を毎年図って頂いています。

今年度は防災倉庫増設・チェーンソーの購入等を市からの補助金も利用して行っています。
それでも、実際に災害が起きた時には十分な装備では無いのが現状です。

大規模な災害の場合、阪神・新潟でもそうでしたが、**行政の支援開始は災害発生後3日と**
言われています。その間は、自分の身(家庭)は自分で守るしか無いのが現状です。

まずはそこから十分な準備を進めましょう!

そして次に重要になるのが、人命救助を行ったり支援が来るまで、**地域の人達と助け合う事**です。
それには、いざという時の為に地域の防災力を高めておく必要があります。

ではどのようにしたら防災力の強い地域にできるのでしょうか?

阪神・淡路大震災の被災者から被災後「**盆踊りも無い地域に災害を乗り切る力は無い!**」
という言葉を知りました。

これは、実際の体験から住民みんなが助け合う事の重要性を感じ、それには日頃からの**地域の
交流を深めておく事が大変重要**だという教訓の言葉です。

幸い、我々の藤営区は年中通してたくさんの行事を行っています。被災者の方の経験も踏まえ、
私自身、今後も自治区の活動に積極的に参画していこうと感じています。

区民の皆様にもおかれましても、是非、今まで以上に地域の方との交流を深めて頂く為に
自治区の多くの活動に参加頂き、**災害に強い藤営区作り**に力を貸して頂ければと思います。
そして、いつくるか分からない災害に向けて、出来るだけの準備をしていきましょう!



〔H18 藤営区防災訓練の風景〕

災害に強い地域をつくるために みんなで実行したい5つのステップ

藤営区避難場所は?

①中山小学校
《一時避難》《避難所》
・グランド ・体育館

②藤営ファミリーホール
《一時避難》《避難所》
・広場 ・ホール内

非常持ち出し品の ポイント!

- 1) 飲料水は最低3日分
- 2) 食料は出来るだけ火を
使わないものを!
- 3) トイレトペーパーなど生活用品
- 4) 電灯・ラジオは絶対!
(最近では充電式もある)
- 5) 枕元にスリッパ・笛を常備。
割れたガラスから足を守る
動けない時は笛で知らせる!

ようこそ藤営区

(12月の入居者さん)

- 上3組
萩原 一郎さん
下7組
柏木 利文さん
下8組
谷口 裕之さん

よろしくお願ひします



《ステップ1》

家族だけでなく、近隣の人々の動向
に関心を持つ。

《ステップ2》

地域の人々と気軽にあいさつを交し
合い、交流を深める。

《ステップ3》

地域のサークルやボランティア活動
に積極的に参加する。

《ステップ4》

祭りや運動会などの地域の行事に進
んで参加する。

《ステップ5》

防災訓練や自主防災組織に積極的に
参加する。

※上記資料は豊田市消防団第5方面隊
『まちかど防災教育』より